

10/13

将棋ソフトで不正か

三浦九段 竜王戦出場取り消し

対局中



三浦弘行九段

が持たれている。三浦九段はソフト使用を否定している。

将棋連盟は三浦九段を今年12月31日までの全公式戦について出場停止とした。渡辺明竜王(32)

との竜王戦七番勝負には、挑戦者決定戦で三浦九段に敗れた丸山忠久九段(46)が繰り上がりで出場する。

将棋連盟によると、三浦九段から事情を聞いたところ、疑念を持たれたままでは対局できないとして、全公式戦をいったん休場する意向を示したという。だが期限までに

休場届が出されず、「ソフトの開催が迫っており、混乱を避けるため処分した(島常務理事)。

三浦九段は今後の対応について弁護士と相談するとしている。

タイトル戦の開幕直前に挑戦者が出場停止になるのは異例。背景には将棋ソフトの棋力向上がある。今年4、5月の電王

戦では人間代表の山崎隆之八段(35)が、ソフト代表のPONANZAに2連敗。ソフトの優位がはっきりしてきた。特に、終盤の話が詰まらないという局面では、ソ

ソフトの方が圧倒的に速くて正確だというのが将棋

界の共通認識となってい
る。棋士の間では、対局
中に隠れてソフトを使用
している者がいるのでは
ないかとの疑心暗鬼も広
がっていた。

将棋連盟はプロ公式戦
で棋士がソフトを用いて
対局する不正行為を防ぐ
方策を検討。対局室への
電子機器の持ち込み禁止

や、対局中外出禁止とい
う規制策を決め、5日に
発表したばかりだった。
「全くのぬれ衣」

三浦九段

三浦弘行九段は12日
夜、日本経済新聞の取材
に対し「全くのぬれ衣で、
不正行為は行っていない
」と話した。

日本将棋連盟(谷川浩司会長)は12日、15日に開幕する第29期竜王戦七番勝負(読売新聞社主催)で挑戦者に決まっていた三浦弘行九段(42)を出場停止処分にしたと発表した。12日記者会見した将棋連盟の島常務理事は「公式戦の終盤で、一手ごとに離席するなど疑義を招く行為があった」と説明しており、将棋ソフトを利用したとの疑い